

本第百四十二号

本邦ノ租税タル從來獨リ土地ニ厚課シ營業物品税ノ

如キハ其種目繁多シテ實收スル所極メテ薄シ豈偏重

偏輕ト言ハサル可シヤ維新ノ後漸ク地租ヲ節減シテ以テ

他ノ營業税物品税ヲ興サントスルノ情勢ニ進向シ遂

ニ明治六年地租改正ノ舉アリ以テ古來地租ノ紊

乱ヲ矯正セントス然リ而シテ此舉タル固ヨリ數百萬圓

ノ減額ヲ期スルモノナレハ一方ニ於テハ他ノ新税ヲ興起

シ之カ欠漏ヲ補充スルニ非サレハ財政何ヲ以テ立ンヤ此

於テ六年三月新クニ証券印紙税ヲ發行セラレ八年二

月新クニ煙草税ヲ施行セラレ同年二月清濁酒醬油

釀造税ヲ廢シテ更ニ酒類税則ヲ施行セラル其他車

船税ノ如キモ亦七年二月ヲ以テ新クニ施行セラル

此數ノ者皆從來人民ノ未タ曾テ納税スル一無キモノ若クハ僅々薄税ヲ納ルニ過キサリシモノニシテ當時是等新法ノ發スルヤ民心ニ關スル最モ甚シク苦情百出其施設ノ間實ニ困難ヲ極メタリキ而シテ從前雜税ト稱スルモノ概テ其加運上ノ類ニシテ其種目一千六百餘ノ多キアリト雖モ其收額僅カニ六拾餘万圓ニ過キス八年二月ヲ以テ悉ク廢セラレ以テ煩ヲ去リ簡ニ就キ纔カニ整理ノ端緒ヲ得タリ乃チ八年雜税收入ノ額三百三拾三万八千七百七拾九圓ナリ尋テ十年減租ノ詔アリ地租ノ減スル無慮八百万圓トス此時ニ當テ國庫ノ欠乏ヲ補ハントスルヤ專ラ酒類其他雜税ノ逋脱ヲ防キ以テ收額ヲ高ムルノ外方策ソル可ラス從事者專ラ此ニ注意シ一年ハ一年ヨリ收額ノ多キヲ加一而シテ十三年九月ニ至リ

更ニ酒類税則ヲ改正シ酒造税則ヲ施行セラル此ニ於テ收額頓ニ増加シ十三年收入金千四百七拾六万圓餘ニ達ス之ヲ八年收額ニ比スレハ金千四百拾三万圓ノ増加ニ至ル抑地租改正ノ業成功スルニ從ヒ地租ノ額大ニ減スルト雖モ敢テ國帑ノ闕乏ヲ告ケサルモノハ雜税ノ之ヲ補充スルアルヲ以テナリ然ラハ則改租ノ洪業今日整頓ニ至ルモノ雜税從事者ノ与力亦尠少ナラスト謂可キ也然リ而シテ此方向ニヨリ進ムテ止マサレハ地稅雜税ノ權衡漸ク平準ヲ得テ以テ偏重偏輕ノ弊ナキニ庶幾カランカ畢竟是廟議計畫ノ宜キニ由ルト雖モ亦從事者ノ拮据勉勵其職ヲ盡シタルノ功ニヨラスンハアラサレ也正義曩ニ租税ノ事ヲ統理シ能ク其實ヲ詳悉ス依テ擔當者中勤勞卓越ナル者ヲ擧ケ其次第ヲ略

叙進呈ス莫クハ特別ヲ以テ右功勞褒賞ノ御詮議有之度懇請候也

明治十五年六月六日

大藏卿松方正義

太政大臣三條實美殿

追テ本文御詮議相成候得ハ御賞金額之義ハ當省定額之内ヨリ支出可致見之ニ有之候也

大藏少輔吉原重俊

明治七年一月租稅助ニ任セラレ從來稅法ノ概子農ニ偏重ナルヲ憂ヘ大ニ雜稅ヲ興シテ以テ之ヲ分荷ヒシメントス乃チ租稅頭松方正義ニ議リ廣ク内外ノ稅法ヲ參酌シ既往ヲ顧ミ將來ヲ察シ計畫スル所多シ尋テ十年一月租稅局長ニ拜シ租稅諸般ノ事務ヲ綜理シ以テ今日雜稅收額巨額ニ至リ其整理宜ヲ得ルモノ實ニ重俊ノ功勞居多ナリ

大藏權大書記官立田彰信

明治六年二月租稅寮七等出仕ニ補シ印紙課長ニ拜シ七年一月租稅助ニ任シ專ラ印紙稅事務ヲ擔理ス此時ニ方リ雜稅ヲ興起スルノ急務ナルヲ以テ毎ニ其起草ノ任

ニ當リ規畫献替スルノ所多ク雜稅諸法ノ頒布アルヤ實  
施上紛議ヲ排シ踏錯ヲ解キ八年 月従来冥加運上  
等ノ雜稅ヲ廢スルノ議ヲ建テ或ハ實地ヲ監査シテ脫稅ノ  
弊ヲ匡正シ吉原重俊ニ亞テ該務ヲ綜理シ以テ今日ノ  
結果ヲ見ルニ至ル十四年六月會計局長ニ轉スル迄專  
ラ該務ヲ擔任シ其功勞少ナカラス

大藏権大書記官中村元雄

明治六年九月租稅寮九等出仕ニ補セラレ此時已ニ改租  
法頒布セラレ將ニ大ニ雜稅ヲ興サントスルニ際會ニ專ラ  
此議ヲ贊成シ立田彰信有島武等ト俱ニ雜稅諸法  
起草ノ任ニ當リ能ク實際ヲ洞見シ深ク利弊ヲ討  
究シ遂ニ該法ノ逐次頒布アルニ至レリ爾來實施上繁  
ヲ理シ墾ヲ疏シ或ハ實地ヲ監査シ以テ脫稅ノ弊ヲ矯

正ス且實際經驗ニ依テ規則改良ヲ圖ルモノ少カラス中  
ニ就テ十三年酒稅改正ノ如キ規畫方法其當ヲ得已ニ  
五百万圓ノ歲入ヲ增加スルニ至レリ尚ホ今ニ迄ルマテ始  
終該務ヲ專任シ其功勞少ナカラス

大藏権大書記官有島武

明治六年二月租稅寮十等出仕ヲ以テ專ラ該務ニ從  
事ス當時稅法ノ錯雜ナルニ際レ二三ノ某ト與ニ雜稅  
改正法起草ノ任ニ當リ電勉調理シ其印紙稅法草定  
ニ付テハ主トシテ之ニ當リ外國該稅ノ沿革ヲ譯述シ又  
實地ヲ監査シ以テ脫稅ノ弊ヲ矯正スルモノアリ十年一  
月關稅局勤務ニ至ル迄始終該務ニ任シ其功勞少ナカ  
ラス

大藏少書記官南方彌太郎

明治六年三月租稅少屬ヲ以雜稅改正ノ事務ニ從事シ  
周到綿密能ク割職ニ忍耐シテ其繁ヲ理ス或ハ實地ヲ  
監査シ脱稅ノ弊ヲ矯正スルモノアリ爾來專ラ諸稅集  
計ノ事ニ任シ其功勞少ナカラス

左之面々ハ慰勞ヲ當トシテ當省ニ於テ下與取計可  
申見込

金百五拾圓

大藏一等屬山室精  
曰 曰 服部作太郎

金百三拾圓

大藏三等屬内阪博徳  
曰 四等屬竹中 悍  
元 大藏四等屬白井 驥

金百圓

大藏二等屬持田直澄  
曰 四等屬北井 靜  
曰 五等屬渡邊知三郎

曰 六等属 星野龍尾

大藏一等属 鈴木米三郎

曰 五等属 上野幸一

曰 曰 今村忠成

曰 曰 鎌田 寛

故 大藏六等属 青木正始

大藏二等属 宮村清慎

曰 四等属 佐木陽太郎

元 租税大属 菊名啓之

曰 租税寮九等出仕 桑原清三

金五拾圓

金三拾圓

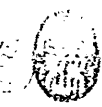
大藏六等属 酒井勝敬

曰 七等属 廣田知一



明治十五年十月二十五日

大臣 

内閣書記官 

主管參議 

元大藏少輔吉原重俊始敷名雜稅徵收方法ノ  
事ニ關シ極別趣勵以之旨ヲ奏與ノ儀大藏卿ヨリ  
別紙ノ通具申有之少長右ノ御度屆難お成モノト存以  
ニ付左ノ趣回報ノ内示ノ上書面以返付お成之趣ハ相伺也

以通譯案

雜稅徵收事務格別後勵ノ者、喜與儀  
具申有之、之者、難及診議、系列紙  
及迄印也

明治十五年十一月十三日

大藏卿松方正義殿

別紙之通建野大坂府知事ヨリ内陳有之候處  
右、各省院ニ係ル義ニ付御官ニ於テ御評議可  
相成<sub>モノト</sub>存候旨及御送附候条可然御取計  
有之度候也

明治十五年六月廿四日

内務書記官

内閣書記官

御中



親第四十一号  
 從來各院者、種々之名義、以地方官院  
 視察之爲出張、如來、其官屬、分日、其  
 度、其院、省長、官、由、達、或、活、書、亦、之、  
 其、乃、書、記、官、出、書、之、其、別、段、内、達、等、之、  
 之、右、決、之、不、知、台、無、之、信、認、其、國、  
 事、上、関、スル、秘密、事、件、亦、同、合、有、之、其、  
 誰、彼、之、不、論、事、情、亦、明、其、懸、念、事、結、  
 其、格、テ、目、今、書、記、官、出、張、其、官、其、使、長、官、  
 特、内、達、有、之、其、協、議、置、中、亦、此、段、  
 亦、陳、其、也、  
 明治十五年五月十九日

大正

大阪府知事建野郷三

内務卿山田顕義殿

第九號

明治十五年六月廿六日




大臣

内閣書記官

大阪府知事建野郷三内陳地方實況  
視察ノ為各院省書記官出張節該  
長官ヨリ内達相成度事  
右回覽ニ供ス

參議

十二

山縣	大木
	
	伊藤
井上	西郷
	山田
松方	大山巖
川村	
伊藤	福岡
	